

東京都における対策型胃がん検診受診者の長期影響を評価するための追跡調査 —東京胃がん検診追跡調査—

1. 研究の対象

東京都地区医師会が実施している対策型胃がん検診対象者（東京都民男女）で、本調査に同意が得られた者。

2. 研究目的・方法

東京都内の地区医師会が実施している対策型胃がん検診受診者を、各地区の胃がん検診実施内容によりペプシノゲンとヘリコバクター・ピロリ抗体の併用法による胃がんリスク層別化検診実施群と従来型胃がん検診実施群に分ける。検診後10年間にわたり、がん罹患及び死亡の追跡を実施し、死亡率を両群間及び全国値及び東京都値と比較する。最終的に、ペプシノゲンとヘリコバクター・ピロリ抗体の併用法による胃がんリスク層別化の有効性について、死亡率減少効果と医療経済的効果の側面から評価する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：氏名、生年月日、性、住所、自記式質問票によるがんの既往歴、胃がん検診歴、胃検査歴、除菌歴、喫煙状況、高塩分食品摂取頻度、胃がん家族歴、胃がん検診（リスク層別化検査）結果、研究開始後の住所異動、がん罹患、死亡日、死因 等

試料：なし

4. 外部への試料・情報の提供・公表

本研究によって収集した調査資料は、同じ目的の他研究と統合して解析を行う可能性がある。その場合にはデータは統合に先立って匿名化される。

5. 研究組織

研究機関

国立がん研究センター社会と健康研究センター予防研究グループ

研究代表者：コホート連携研究部 井上真奈美

研究協力機関

東京都医師会及び東京都医師会に所属する地区医師会

6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、研究参加へのご同意をいただいたあとで、研究参加の同意を撤回することもできますので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も対象者の皆様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター 社会と健康研究センター コホート連携研究部 井上真奈美
(研究責任者)

研究代表者

国立がん研究センター 社会と健康研究センター コホート連携研究部 井上真奈美